

コンサルテーションを終えて

昨年度の話になりますが、2021年度に1年間オンラインになりますが、鳥取大学の井上雅彦先生のコンサルテーションを受けさせていただきました。7月10月3月の年3回、同一ケースの支援について、アドバイスを実践、コンサル→実践のサイクルで行いました。

今回相談させていただいたケースは、利用者さんの送迎に関する内容で当初はグループホームからはまなす園に送迎で来る際に園に着いて車からなかなか降りることが出来ず、時間を要してしまうことが度々ありました。長い時には1時間近い時間をかけてその対策として相談させていただきました。北海道という土地柄寒い季節になると10分でも厳しいと思うことも多々ありました。

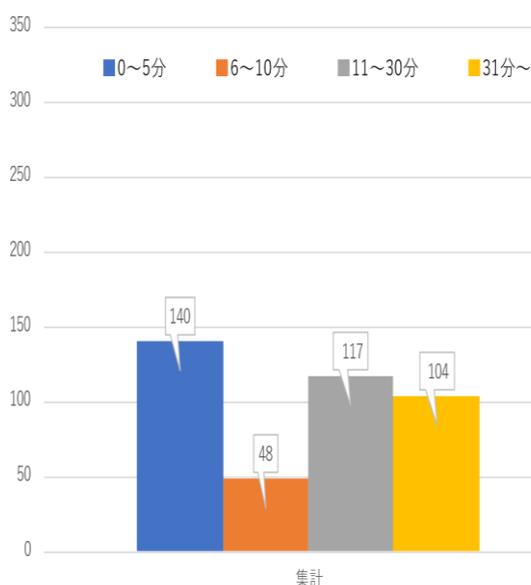
初めは朝送迎時の降車する時間が約400回の中で10分以上要していた回数が220回と半数以上かかっていましたが二回目のコンサル時は約90%が5分以内と激変していました。コンサルテーションを受けていく中で大事だと教えて頂いたことに記録の取り方が挙げられていました。記録は必要な情報が読み取れるよう記録する必要があり、狙いを決めて取ることでその記録の有用性が高まることを実感しました。

全3回のコンサルテーションを受けて3回目にもほぼ100%で10分以内の降車ができるようになっていましたが、一方でグループホームに戻る際の乗車に時間ができるようになっていましたが、一方でグループホームに戻る際の乗車に時間がかかるようになっていました。現在では降車時間は概ね安定していますが、乗車時間は多くかかる頻度が増えていきます。利用者さんの取り組みに関してコンサル中だけで終わるわけではないので、コンサル後も試行錯誤して取り組みは続いていきます。

その中で原因や対策を考える上で大事になってくることはきちんとした根拠となることで支援の道筋が見えてくるものと教わりました。

今回の経験を自分の中だけではなく、データを取っていく上ではチーム支援が不可欠ですので、しっかりと共有し、「活かしたデータ」が取れるよう取り組んでいきたいと思っております。この場をお借りして改めてお忙しい中お時間いただきました井上先生には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。今後も頑張ります。

朝送迎時に降車に要した時間



7/16~10/3までの降車に要した時間の割合

